

日本救急医療財団の活動報告

平 賢 二 事務局長

2018年8月中旬から10月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

1. 「救急の日2018」について

厚生労働省・消防庁・一般社団法人日本救急医学会・一般財団法人日本救急医療財団が主催団体として本年も「救急の日2018」を9月9日（日）に昨年と同じ場所、アクアシティお台場・3階「アクアアリーナ」で開催しました。

本イベントは、救急医療週間の活動の一環として、厚生労働省・消防庁・日本救急医学会・日本救急医療財団が主催するもので、平成3年に始まり28回目となります。会場には、一日を通して約2,000名の方が来場しました。

・日本赤十字社指導員による

「あなたの勇気が命を救う！ハートラちゃんと一緒に体験しようAED」

・日本AED財団「減らせ突然死プロジェクト実行委員会」による

「子供たちへのカンタン救命講座」

・全国救急救命士教育施設協議会組織校「太田医療技術専門学校・国士舘大学」による

「私たちが救急救命士となり市民を守る！（救急救命処置シミュレーション）」

また、日本AED財団による「AEDを探そう」のイベントも実施されました。

【アンケートに寄せられた声】

「AEDの設置場所がわかるアプリやAED使用方法などが良くわかり参加してよかったです」「実際に体験できるイベントがあり楽しかったです」「正しい胸骨圧迫するのはとても難しかった」「ヘルメットをかぶれてよかった」「子ども体験コーナーも欲しい」「親子で体験でき役に立った」「広報してもらえると参加しやすいです」「分かりやすいイベントでした」「ドクターヘリをみてみたい」「救急箱の必需品を教えてください」「また来年もよろしくお願いします」等の声が寄せられました。

研修研究部門に関する報告

穂苺 幸夫 研修研究部

1. 救急救命士養成所専任教員講習会について

平成30年8月13日（月）から8月17日（金）までの5日間、独立行政法人国立病院機構研修センターにおいて、救急救命士養成所専任教員講習会を実施しました。

研修内容は、①救急救命士養成施設の現状と教育体制、②救急救命士の研究と統計処理、③救急現場活動の実際と救急隊員に求められる素養、④救急救命士の活動に必要な関係法規、⑤

病院前医療体制の現状と課題、⑥教育技法総論の講義と⑦病院前医療体制充実のためのMC体制の強化、⑧病院前医療体制充実のための課題、⑨高度シミュレーターを使用した特定行為プロトコルの実際、⑩教育現場でのプレゼンテーション技法についてのワークショップであり、全国から37名の受講者が参加されました。

特に、ワークショップでは、活発な意見交換と受講生相互の情報交換がなされ、大変有意義な講習会となりました。

2. 看護師救急医療業務実地修練について

全国から推薦された71名の看護師が、平成30年9月10日（木）から9月14（金）までの5日間、リロの会議室田町会場において合同研修を実施し、さらに、10月1日（月）から10月5日（金）までの5日間、全国の救命救急センターを持つ19病院に分かれての施設研修を実施しました。

合同研修では、救急医療の現状、救急に必要な不整脈の知識、脳卒中、ショックの病態、院内救急対応、熱傷、ERの現状、意識障害、ACS、災害看護学概論、災害医療概論、小児医療、臓器不全・血液浄化法、グリーフケアとDMORT、救急患者への対応とトリアージ、急性中毒、ドクターヘリにおけるフライトナース、高齢者医療、精神病状を持つ患者へのアプローチ、呼吸不全、脳死と臓器移植、救急における安全管理の講義、災害医療の現状・災害トリアージ・DMAT、救急トリアージの実際（成人トリアージ、小児トリアージ、電話トリアージ）、（私の施設の）救急で困っていること、JNTECの実技のワークショップを通して、救急医療の実際、最新の情報を学ぶとともに、受講生相互の情報交換があり、連帯感が深められました。

施設研修では、実際の救急医療現場で救急処置室の見学、救命救急センター及び救急ICU等での研修、救急外来（初療室やER）における救急患者のトリアージ等の研修を実施しました。

3. 病院前医療体制における指導医等研修（初級者）について

平成30年10月4日（木）から10月5日（金）までの2日間、大阪府大阪市の天満研修センターにおいて、病院前医療体制における指導医等研修（初級者）を実施しました。

受講対象は、3年以上の救急臨床歴があり、これからMCを始める医師、現在も救急隊員への指導・助言を行っており、オンラインでも指示をしている医師、救急救命士・救急隊員の病院実習に関して院内コーディネーター役となる医師、二次救急医療機関において救急医療を担当している医師であり、今回は55名の受講者が参加されました。

研修の内容は、救急医療とメディカルコントロール、救急業務の担い手と医師の業務、メディカルコントロールに関わる組織と法的根拠、メディカルコントロールの現状と課題、オンラインで行う指示、指導・助言の講義・ワークショップ、医師が出動する医療でのMC、プロトコルの読み方・使い方の講義・ワークショップ、検証とフィードバックの講義・ワークショップ、病院実習における教育の講義・ワークショップ、ワークショップでは活発な意見交換がなされ、

講義内容等の理解・復習の意味としてテストを行い大変有意義な研修会となりました。

試験部門に関する報告

徳竹 伸重 試験免許部

1. 第42回救急救命士国家試験の施行

第42回救急救命士国家試験の施行が、平成30年9月3日に官報、厚生労働省及び財団のホームページに掲載されました。

概要は次のとおりです。

試験期日 … 平成31年3月10日（日曜日）

試験地 … 北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県

願書受付 … 平成31年1月4日（金曜日）～ 同年1月24日（木曜日）

合格発表 … 平成31年3月29日（金曜日）午後2時

受験手数料 … 30,300円